

2022年度（当機構第9期）事業報告書

2022年10月1日から2023年9月30日まで

特定非営利活動法人 獣医系大学間獣医学教育支援機構

1 事業の成果

獣医系全17大学が共用試験（Computer Based Testing: CBTとObjective Structured Clinical Examination: OSCE）を実施した。4年生の後期から5年生の前期にかけて、CBTは1,129名、OSCEは1,124名が受験した。CBT本試験の前には新しく作成されたCBT問題を用いて各大学がトライアル試験を実施し、本試験に用いるCBT問題の精選を実施した。

前期からの新規事業として、獣医大学生の卒業後の就職先ともなる大学外部の各機関（地方自治体、家畜保健所、食品衛生検査所、NOSAI、各種研究所等）での学生実習の受入れ先を確保し、1年生から6年生までの約390名が実習に参加した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
1. 共用試験の実施及び評価に関する事業	17獣医大学が共用試験を実施	2023年2月～8月	獣医17大学	獣医大学教員約170名	獣医大学学生1,100名	20,500千円
2. 共用試験の問題、課題及び成績等の管理に関する事業	新しいCBT問題の作成・精選・管理	2022年10月～2023年1月	獣医17大学	獣医大学教員約700名	獣医大学学生約6000名	1,000千円
3. 共用試験の改善を図るための研究及び研修に関する事業	実施マニュアルの作成及び試験実施大学への委員を派遣	2022年10月～2023年9月	獣医17大学	機構5名 獣医大学教員約20名	獣医大学教員約700名及び学生約6000名	1,700千円
4. 獣医教育の内容と評価の発展充実を図るための事業						
5. 獣医系の大学等における上記事項の連絡調整に関する事業	共用試験実施に伴う会議の開催	2022年10月～2023年3月	機構事務局	獣医大学教員約80名	獣医大学教員約700名及び学生約6000名	1,300千円
6. その他目的を達成するために必要な事業	大学外部における学生臨床実習受入機関の確保及び各大学への情報提供	2022年10月～2023年9月	機構事務局	機構5名及び獣医大学教員約40名	獣医大学教員約700名及び学生約6000名	6,500千円

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額 (千円)